

光明学園と保護者をつなぐ

健康の橋



東京都立光明学園（肢・病併置校）

令和2年9月25日（金）発行

健康・安全・安心の架け橋通信²⁶

校長 田村 康二郎

2学期始業式から1ヶ月が過ぎました。1学期の通常登校再開時には、S部門生は西棟利用、B部門生はA棟利用を原則とし、食堂での両部門生の共用利用停止や、両部門生の動線が重ならない等、学習場所の制限をしてきました。その期間を準備期間とし、2学期からはノウハウを駆使して、学びの充実に向けた校舎利用を開始しました。

今号では、9月14日に東京都教育委員会から出された「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン 改訂版 ver2」の方針を受け、「With コロナ」の状況下において「感染症予防策の一層の推進」と「健やかな学びの充実」を両輪とし、教育活動を進めている様子をお伝えします。

ガイドライン改訂版では、おもに以下のような内容が記載されています。東京都教育委員会のHPからも閲覧することができます。

・健康診断の実施方法の工夫

：換気・人数制限・手洗い等を徹底し、現在実施中です。

・次亜塩素酸水を使っての物品消毒の有効性

：トイレの消毒を中心に使用していきます。



1 サーモグラフィー 3 台追加配備（新規）

サーモグラフィ（体温自動測定器）は、学園生にも来校者にも分かり易いように光明学園では独自で大型モニターに映しています。7月に2台配備され、A棟玄関（おもにB部門生・教職員・外部来校者等）と西棟昇降口（おもにS部門生）に設置しましたが、さらに西棟昇降口への追加配備に加え、寄宿舍・体育館にもそれぞれ設置しました。（計5台配備）特に西棟昇降口では、登校時にサーモグラフィの前で密になりがちな状況がありましたが、増設したことで密が解消され、スムーズに校舎内に入れるようになりました。



（西棟 SB 昇降口）



（寄宿舍玄関）



（体育館）

2 2部門での食堂利用対策（新規）

食堂では両部門の学園生が安心して使用できるよう衝立を二重にして各部門スペースの間に緩衝ゾーンを設置しました。この衝立は半透明のため食事をする場所としての明るさも確保できます。また B 部門ではテーブルにアクリルボードを V 字に設置し、対面での食事をなくす工夫をしています。食堂に限らず、各教室においても給食指導時にはマスクを外すため、サーキュレーターを稼働させて、一層の換気を行っています。



（二重の衝立を挟んだS部門側）



（食堂B部門のテーブル3人掛け）



（S部門教室での換気）

3 換気対策（新規）

西棟では自動換気装置が常時稼働していますが、A棟は換気装置が十分ではなく、また北棟建築のため廊下の窓が覆われている部分もあります。B部門生の教室のみならず、2階廊下にもサーキュレーターや冷風機を設置し、換気を補助しています。



4 マイスリッパ持参のお願い（新規）

保護者の皆様の校舎内への立ち入り制限は継続（[5](#)に記載）しておりますが、学校が依頼して御来校いただく際には、**ぜひマイスリッパを御持参ください。**

西棟昇降口には予備のスリッパを置き、消毒もしておりますが、共用を避けることは感染予防対策の基本です。御協力をお願いします。

5 保護者・外部者の校舎内立ち入り制限（継続）

学校が依頼している付添い、保健室での保護者同席の健康観察、吸引等の医療的ケア、検診の同席、個別面談等で校舎内に入る必要がある場合を除き、**現在も立ち入り制限は継続しています。**

保護者送迎での登校 9時40分頃までは主幹教諭（輪番）が、西棟 SB 昇降口で送迎者対応をしています。上記（赤字）以外の方は、**保護者の方が校舎内に入らずに担任に引渡し**ができるよう、内線で教室に連絡します。

9時40分以降については、主幹教諭が立っておりませんので、次の手順を御確認ください。

- 「校舎外から回り、西棟職員玄関→保健室へ」と、校内に入らないルートをお願いしてきましたが、寒い季節に向かうことも考慮し、校内に入り「**西棟昇降口→保健室へ**」も**可能**とします。保健室まで速やかにお入りいただき、お声かけください。
保健室スタッフが内線で教室に連絡をし、担任を呼び、保健室での引き渡しとします。
- 校舎内に入らずに引き渡しができるよう**、時間を決めて担任と昇降口で待ち合わせる等の御協力をお願いします。

保護者早退時の迎え 時間を決めて、担任から速やかに **SB 昇降口での引渡し**ができるよう、御協力ください。※**外部来校者**は、学校見学等の目的に応じて人数を調整し、密にならないような対策を講じた上で実施しています。

6 登校時・在校時における体調不良者の対応（再掲）

急な発熱等の体調不良の症状を確認した場合には、（万一感染症等に罹患しているかもしれない）との想定で、保護者の迎えまでの安全管理を次のように行います。

「**体調不良者の引渡し対応**を行います」←全校放送で周知します！

- **感染症の可能性も含めた体調不調者が生じたので、「万が一に備えた組織対応をする」**ことを、全校で共通理解を図ります。**この全校放送 = 感染症発生ではありません。**感染しているかもしれないとの想定で、「感染・汚染区域を拡大しない・濃厚接触者を増やさない」原則に基づき、行動します。
- 体調不良者を隔離し、指導・安全管理担当として教職員1名を固定化します。
- 保護者の迎えに合わせて移動する際は、全校放送により、校内移動の動線を周知し、他の学園生と交差しないようにします。**引渡し時には「防護服」等の姿で対応します。**
- お迎えの保護者には下校後の受診と結果の報告をお願いします。
- 引渡し担当教員は、直ちに帰宅します。保護者からの「感染症等ではなかった」との報告を受けた後、学校勤務再開となります。

体調不良の学園生をお迎えに自家用車で来校された場合は、**【S部門】は西棟バスターミナルへ、【B部門】は、A棟中庭駐車場へ**お越しください。



7 ドミトリー（寄宿舍）の感染対策（継続）

生活の場となる寄宿舍でも感染対策には、特に留意して取り組んできました。共用スペースの衛生対策も進めています。また、学校と同様に食堂の机にはアクリル板での衝立を設置したり、食堂内での移動の際にも距離を保てるように、一方通行にするなど工夫しています。



透明なので見えにくいですがアクリル板の衝立があります

8 御礼：防護用品の品薄対策（使い捨てエプロン製作）

夏季休業中には、多くの保護者に御協力いただき、ありがとうございました。1ヶ月あたり2000枚使用する使い捨てエプロンですが、皆様の御協力のお陰で2学期分の必要枚数は確保できました。始業式にお持ちいただいた手作りエプロンとともに、教職員への温かなメッセージもいただきました。お心遣い、ありがとうございます。



9 学校への連絡を（再掲） ※再確認をお願いします！

<連絡を要する場合>

- 学園生が医療機関等において PCR 検査等を受けることを勧められた場合
- 学園生が濃厚接触者となった場合（家族、入所施設、通所施設等周囲の感染が判明し、保健所より濃厚接触者に特定）
- 学園生の PCR 検査等の結果が分かった場合

<連絡先>

- 平日8:30～17:00 学校代表電話(3323-8421)で副校長を呼び出してください。
- 上記時間帯以外 感染対策用の公用携帯電話へお願いします。

副校長 泉 慎一 080-4072-6207
石川 拓 080-4072-6779
秋本友美 080-4072-6489

<検査結果について>

- 陰性だった場合：平常通りの教育活動を実施します。
※特段の一斉連絡はしません。
- 陽性だった場合：保健所からの指示を受け、情報把握を行う間、臨時休業とします。
※全校一斉連絡します。

<9月8日現在の在庫状況> ※現在使用中のもの・教室保管分を除く

不織布マスク	19350 枚	アイシールド	1 個	手指消毒用アルコール	42 ㍓
布マスク	591 枚	袖なしエプロン	26995 枚	物品消毒用アルコール	40 ㍓
透明マスク	149 個	袖ありエプロン	112 枚	ペーパータオル	275 個
フェイスシールド	491 枚	グローブ	21800 枚		

株式会社YAGI様から、東京都教育委員会を通じて、各特別支援学校に「洗って使える機能素材マスク」の御寄附をいただきました。本日1枚ずつ持たせます。どうぞお使いください。

